

## 感染対策連携共通プラットフォーム J-SIPHE への参加について

当院では感染対策連携共通プラットフォーム J-SIPHE へ参加し、診療から得られた情報を提供しております。概要は以下となります。

### 【J-SIPHE の背景と目的】

2015 年に世界保健機関（WHO）総会にて薬剤耐性（AMR）に関するグローバルアクションプランが採択され、加盟国は自国の行動計画を策定するように要請されました。

それを受けた日本政府は 2016 年に AMR 対策アクションプランを策定しました。AMR 対策アクションプランでは普及啓発・教育、動向調査・監視（薬剤耐性や抗微生物剤の使用量）、感染予防・管理、抗微生物剤の適正使用等の各分野に関し取り組みが求められています。感染予防・管理に関しては、医療・介護における感染予防・管理と地域連携の推進も掲げられています。

このような背景を受け、厚生労働省委託事業 AMR 臨床リファレンスセンターが主体となり、施設での AMR 対策に活用できるシステム J-SIPHE（Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology）が稼働・運用されることになりました。

本システムは、全国の施設における感染症診療状況、感染対策への取り組みや構造、医療関連感染の発生状況、主要な細菌や薬剤耐性菌の発生状況及びそれらによる血流感染の発生状況、抗菌薬の使用状況等に関する情報を集約させ、さらに、それらを参加施設や参加施設の地域等が活用していくことを目的とするものです。また、データの集約による日本の National data base の構築としての役割も担っています。

### 【オプトアウト 研究協力の拒否】

患者さんが、この研究の趣旨にご理解を頂けず、試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、データの提供を取り下げ致します。

### 【対象者】

2013 年 4 月以降、当院で診療を行った患者様が発症された、医療関連感染症の診断名、細菌検査、抗菌薬処方量が対象となります。

### 【提供データ】

診療年月、データ作成日、在院患者延数、入院患者数、退院患者数、病棟コード、診療科区分、在室患者延数、J-SIPHE 抗菌薬コード、薬剤一般名、略語、処方日数、処方料、処方料の単位、処方患者数、薬剤料

### 【個人情報の取り扱いについて】

原則的に個人が特定できる情報は J-SIPHE へ提供しません。詳細の確認を希望の場合は下記の間合せ先にご相談ください。

### 【間合せ先】

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンター J-SIPHE 事務局

<https://j-siphe.ncgm.go.jp/>

（黒部市民病院における問い合わせは 情報管理課(0765-54-2211 内線 4023)までご連絡ください。)